

令和7年度 自己評価書

学校名	和歌山市立新南小学校
校長氏名	嶋田弘人
作成日	令和8年2月4日

1 教育目標

豊かな心をもち、主体的に生きる子どもを育成する

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・県学習到達度調査で正答率が県平均を上回る。 ・児童アンケート項目「毎日の勉強がわかる」で肯定的回答80%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート項目「学校が楽しい」で肯定的回答90%以上。 ・いじめの解消率が100%になるよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・R6年度体力テストシャトルラン高学年(4,5,6年)平均のTスコア46.3を上回る。 ・児童アンケート項目「体育の時間が楽しい」で肯定的回答80%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケート項目「学校の様子をわかりやすく伝えている」で肯定的回答80%以上。
重点目標【P】	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎基本の確実な定着 ◎子供主体の授業の推進 ○読書活動の推進 ○家庭学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳教育・人権教育の充実 ◎いじめの未然防止・早期発見 ○互いのよさを認め合う仲間作りと集団活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◎体育の授業で体力向上の取組の推進 ○基本的生活習慣の確立 ○外遊びや運動に親しむことの奨励 	<ul style="list-style-type: none"> ◎家庭・地域との連携推進 ○情報の積極的な発信 ○地域資源の積極的活用の推進
取組の状況【D】	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や家庭で音読練習を積み重ねる。 ・2年以上は各学期(1年は3学期から)に漢字博士検定に取り組む。 ・読書タイム等で読書指導を行う。 ・四季毎に校内俳句コンクールを実施したり、和歌山放送「わたしの作文」に取り組むことで言語感覚を磨き、語彙を増やす。 ・各学級担任が研究授業を行い、教員個々の授業力向上につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・好ましい人間関係を築き、安心して学習に取り組めたりできる学級づくりを行う。また、集団活動等で子供同士が関わる機会を増やす。 ・道徳や人権の授業の工夫改善に努め、各学級の人権教育実践について各学期末に交流会をもつ。 ・いじめアンケートを学期に1回実施し、いじめの未然防止・早期対応に努める。 ・認知したいじめについては、関係機関と連携を取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育科の授業の充実を図り、縄跳びカード等の上達カードを活用することで運動への意欲を高め、体力の向上に努める。 ・外遊びを奨励し、鬼ごっこや一輪車等運動に親しむ機会を大切にし、運動用具・器具等の環境整備に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年学級通信の配布、学校通信等のHP掲載のほか、懇談会等あらゆる機会を通して積極的に子供や学校・学級の様子を発信する。 ・子供達が地域に出たり、音の遊びや昔の暮らしを学習する機会に地域の方と触れ合うことで地域への愛着を育む。
取組の成果と課題(評価結果)【C】	<ul style="list-style-type: none"> ・県学習到達度調査の本校の結果及び県平均との比較。 4年国語正答率64.2%。県平均より13.8ポイント上。 4年算数正答率73.0%。県平均より10.0ポイント上。 5年国語正答率69.0%。県平均より3.9ポイント上。 5年算数正答率63.1%。県平均より0.6ポイント上。 5年理科正答率56.4%。県平均より2.6ポイント上。 ・「毎日の勉強がわかる」と回答した児童の割合は90.0%あり、目標は達成できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校が楽しい」と回答した児童の割合は94.2%である。 互いの良さを認め合え、安心して学べる学級づくりの取組が反映された結果であると考える。 ・学期に1回実施している「いじめアンケート」も活用しながら、児童間のトラブルはその都度丁寧に対応し、解決をしてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度高学年(4,5,6年)トシャトルラン平均Tスコアの結果は45.6で令和6年度の結果を下回った。 ・令和6年度と令和7年度の「体力テスト」の結果を比較すると、相対的に令和7年度の1年生の各種目ポイントは高い。経年変化を見ると、学年が上がるにしたがって各種目のポイントは向上し体力的な成長は見られる。 ・児童アンケート項目「体育の時間が楽しい」で肯定的回答93.9%になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートで「学校の様子をわかりやすく伝えている」と回答した保護者の割合は88.9%であり、目標に達した。 ※昨年度：85.4%
改善方法【A】	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の正答率の低い設問については、現状を踏まえながら授業改善を行ったり、復習を行ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・好ましい人間関係を築き、安心して学習に取り組める学級づくりを行う。 ・いじめは起こるものという認識のもと、早期に発見・対応し、いじめ解消率100%になるよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も授業を工夫したり、環境を整えたりすることで体力向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も学校・学年・学級通信・HP等を通して学校の様子を積極的に発信するように努める。 ・1年生や2年生の学習で地域の方と触れ合う機会を継続して設ける。「昔の遊び」「交流給食会」等。

3 その他の課題

--